

グレゴリー・ペック

Gregory Peck

生年月日 1916/04/05

出身地 アメリカ／カリフォルニア州ラホヤ

没年 2003/06/12

関連人物 セシリア・ペック（娘）
トニー・ペック（息子）

【バイオグラフィ】

■本名はEldred Gregory Peck。6歳の時に両親が離婚。薬剤師だった父と祖母に育てられ、週末には毎週祖母と映画に出掛けていたという。高校卒業後、父の希望で医者を目指して大学では医学部に入学。クラグはボート部に入ってレガッタの選手となるが、試合中に脊髄を痛めて引退。また3年生の頃から演劇に魅せられ、次第に俳優の道を志すようになる。卒業後にNYへと渡り、ラジオ・シティ・ミュージック・ホールでガイドなどを経験後、奨学金を得てネバーフット・プレイハウスで本格的に演技を学び、42年にはブロードウェイにも進出。やがて製作のケイシー・ロビンソンに認められ44年に「炎のロシア戦線」で映画デビュー。脊髄の負傷で兵役免除となっていたため俳優不足の映画界で次々と出演作が決まったという。以降の活躍は御存知の通り、アカデミー主演賞候補になる事5回。独立プロを設立して製作した「白鯨」や「大いなる西部」の興行的失敗や人気の低迷もあったが「ナバロンの要塞」で復活し、「アラバマ物語」で念願の主演賞の栄冠を手にした。80年以降は第一線を退き脇役として時たま映画やTVに出演。またアカデミー協会、ハリウッド俳優組合、アメリカ癌協会、フィルム・インスティテュートなどで理事や会長を歴任。俳優の権利と地位向上にも取り組み、その功績から68年にはアカデミーのジーン・ハーショルト友愛賞や自由勲章を授与された。政治活動も盛んでニクソン政権下の時はブラック・リストに載った事もあるとか。結婚は2度で、5人の子供の内、セシリアとトニーは俳優になった。千冊以上もの蔵書を持つリンカーン研究者としても有名。03年、老衰のために妻に看取られながらこの世を去った。

【フィルモグラフィ】

| | |
|--------------------------|------------------|
| モビー・ディック (1998) | 出演 |
| 愛のポートレイト／旅立ちの季節 (1993) | 製作総指揮, 出演 |
| 思い出のオードリー・ヘプバーン (1993) | 出演 |
| アザー・ピープルズ・マネー (1991) | 出演 |
| ケープ・フィアー (1991) | 出演 : リー・ヘラー |
| 私が愛したグリーンゴ (1989) | 出演 |
| サイレント・ボイス／愛を虹にのせて (1987) | 出演 |
| 赤と黒の十字架 (1983) | 出演 |
| 引き裂かれた祖国／ブルー&グレイ (1983) | 出演 |
| シーウルフ (1980) | 出演 : ルイス・ピュー中佐 |
| ブラジルから来た少年 (1978) | 出演 : ヨーゼフ・メンゲレ博士 |
| マッカーサー (1977) | 出演 : ダグラス・マッカーサー |
| オーメン (1976) | 出演 : ロバート・ソーン |
| ダブ (1974) | 製作 |
| 荒野のガンマン無宿 (1973) | 出演 : アーチ・ディーンズ |
| 新・ガンヒルの決斗 (1971) | 出演 : クレイ・ロマックス |
| 宇宙からの脱出 (1969) | 出演 : チャールズ・キース |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています。

データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。

Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

| | |
|--------------------|-------------------------|
| 0 (ゼロ) の決死圏 (1969) | 出演 : ジョン・ハサウェイ |
| マッケンナの黄金 (1969) | 出演 : マッケンナ |
| レッド・ムーン (1968) | 出演 |
| アラベスク (1966) | 出演 : グレゴリー・ポロック教授 |
| 蜃気楼 (1965) | 出演 : デヴィッド・スティルウェル |
| 日曜日には鼠を殺せ (1964) | 出演, 製作 : マヌエル |
| ニューマンという男 (1963) | 出演 |
| アラバマ物語 (1962) | 出演 : アティカス・フィンチ |
| 西部開拓史 (1962) | 出演 |
| 恐怖の岬 (1962) | 出演 : サム・ボーデン |
| ナバロンの要塞 (1961) | 出演 : キース・マロリー大尉 |
| 悲愁 (1959) | 出演 : F・スコット・フィッツジェラルド |
| 渚にて (1959) | 出演 : ドワイト・ライオネル・タワーズ艦長 |
| 勝利なき戦い (1959) | 出演 |
| 大いなる西部 (1958) | 製作, 出演 : ジェームズ・マッケイ |
| 無頼の群 (1958) | 出演 : ジム・ダグラス |
| バラの肌着 (1957) | 出演 : マイク・ヘーゲン |
| 白鯨 (1956) | 出演 : エイハブ船長 |
| 灰色の服を着た男 (1956) | 出演 : トム・ラス |
| 紫の平原 (1954) | 出演 : ビル・フォレスター |
| 夜の人々 (1954) | 出演 |
| 春風と百万紙幣 (1954) | 出演 : ヘンリー・アダムス |
| ローマの休日 (1953) | 出演 : ジョー・ブラッドレー |
| キリマンジャロの雪 (1952) | 出演 : ハリー・ストリート |
| 世界を彼の腕に (1952) | 出演 : ジョナサン・クラーク船長 |
| 艦長ホレーショ (1951) | 出演 |
| 愛欲の十字路 (1951) | 出演 |
| 勇者のみ (1951) | 出演 : リチャード・ランス大尉 |
| 拳銃王 (1950) | 出演 |
| 頭上の敵機 (1949) | 出演 |
| 大いなる罪びと (1949) | 出演 |
| 廃墟の群盗 (1948) | 出演 : ジェームズ・”ストレッチ”・ドーソン |
| 紳士協定 (1947) | 出演 : フィリップ・シャイラー・グリーン |
| パラダイン夫人の恋 (1947) | 出演 |
| 決死の猛獣狩り (1947) | 出演 : ロバート・ウィルソン |
| 白昼の決闘 (1946) | 出演 : ルート・マキャンレス |
| 仔鹿物語 (1946) | 出演 : エズラ・バクスター |
| 愛の決断 (1945) | 出演 |
| 白い恐怖 (1945) | 出演 |
| 王國の鍵 (1944) | 出演 |
| 炎のロシア戦線 (1944) | 出演 : ウラジミール |